

今号には、「ぐんま広報11月号」が折り込まれています。ぜひご覧ください。

令和4年(2022年)11月6日(日)

群馬県議会だより

第94号

題字は、桐生市立商業高等学校2年生 書道部 佐藤 鈴奈さんの書道作品です。

発行●群馬県議会 編集●県議会図書広報委員会
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎027-226-4131(政策広報課)

第3回前期定例会開催

「原油価格・物価高騰対策」など 369億8千万円余の補正予算案を可決



たかさき雷舞フェスティバル(高崎市)

10月9日(日)に行われた同フェスティバル。新型コロナの影響で、ここ数年、多くの祭りが中止やオンラインでの開催でしたが、今秋は屋外で行われています。ウィズコロナを見据えて、各地で賑わいが戻りつつあるようです。

第3回前期定例会のあらまし

◇令和4年第3回定例会は、9月20日から12月14日までの会期86日間で開催されています。

今回は、10月13日までの前期定例会についてお知らせします。
10月14日以降については、次号に掲載します。

【議案】

9月20日には、知事から、飼料価格高騰の影響を受ける酪農家等の農林業に対する経営支援や、光熱費及び給食食材費の高騰に対する保育・教育現場への支援等、**257億3,146万円を増額する一般会計補正予算案など36議案**が提出されました。9月29日には人事案件1議案が、10月12日には「愛郷ぐんま全国割」を実施する経費やマイナンバーカードの取得促進に係る経費等として**112億5,697万円を増額する一般会計補正予算**や、令和3年度決算など、**計10議案**が提出されました。

議会からは、委員会提出議案として、特別委員会の設置議案**1件**が発議されました。

【質疑及び一般質問】

12人の議員による質疑及び一般質問が行われ、県政全般について活発な議論が交わされました。また、10月12日に追加提案された一般会計補正予算案について、**4人の議員**が質疑を行いました。

【常任委員会・特別委員会】

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事項などについて審査・調査しました。

【議決】

議決は、9月29日、10月12日及び13日に行われました。

知事から提出された議案は、決算特別委員会に付託された決算に係る議案を除き、全て**可決・同意**されました。

委員会から発議された議案についても可決されました。また、**2件**の請願が**採択**されました。

請願・陳情の手引きはこちら



◇可決された主な議案

○令和4年度群馬県一般会計補正予算(第2号・第2号【追加提案分】及び第3号)

○群馬県職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の改正に伴い、職員の定年の引上げ等を行おうとするもの

閉会中も積極的な委員会活動を行っています

県議会に設置されている委員会は、担当する所管事項について、審議の参考とするため、現場に出向いて調査活動を行っています。

今回は、常任委員会による県外調査の主な状況を紹介します。

総務企画常任委員会

委員長：川野辺達也、副委員長：森昌彦
委員：井田泉、安孫子哲、小川晶、井田泰彦
神田和生、追川徳信

★令和4年7月20日(水)～22日(金)

①厚真町（北海道勇払郡厚真町）

【調査目的】危機管理・防災対策

平成30年に発生した北海道胆振東部地震発生当時の状況や対応、復興状況について調査を行いました。



厚真町の復興状況を調査する様子

②陸上自衛隊北部方面隊真駒内駐屯地（北海道札幌市）

【調査目的】危機管理・防災対策

現在の安全保障環境や有事の際の自治体との連携について調査を行いました。

③北海道博物館（北海道札幌市）

【調査目的】文化づくりの推進

文化力の向上を目指している当該施設の活動などについて調査を行いました。

④新ひだか町（北海道日高郡新ひだか町）

【調査目的】移住、定住の促進

官民連携による移住サポートや定住の後押しなどの取組について調査を行いました。

健康福祉常任委員会

委員長：穂積昌信、副委員長：相沢崇文

委員：久保田順一郎、あべともよ、酒井宏明、松本基志、八木田恭之

★令和4年7月20日(水)～22日(金)

①愛知県庁（愛知県名古屋市）

【調査目的】私学振興・児童福祉

里親制度の普及啓発活動や里親養育相互援助事業などの取組について調査を行いました。

②地方独立行政法人岐阜県総合医療センター（岐阜県岐阜市）

【調査目的】県立病院の充実

高度で先進的な医療の提供や組織体制の整備状況について調査を行いました。

③医療法人かがやき総合在宅医療クリニック（岐阜県羽鳥郡岐南町）

【調査目的】保健医療対策の充実

同クリニックの在宅医療やこども食堂などの地域に根ざした取組内容について調査を行いました。

④B's 行善寺（石川県白山市）

【調査目的】社会福祉・社会保障の充実

社会福祉法人佛子園が展開する障害福祉サービスや介護福祉サービス等に取り組む同複合施設について調査を行いました。



B's 行善寺で説明を受ける様子

環境農林常任委員会

委員長：岸善一郎、副委員長：高井俊一郎

委員：狩野浩志、伊藤祐司、萩原渉、金井康夫、加賀谷富士子、入内島道隆、亀山貴史

★令和4年7月12日(火)～14日(木)

①株式会社鳥取CLT（鳥取県西伯郡南部町）

【調査目的】林業振興対策

「CLT」(※)を生産し木材産業の活性化を目指している企業について調査を行いました。

(※)CLT…ひき板(ラミナ)を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料

②蒜山高原「グリーンブルヒルゼン」(岡山県真庭市)

【調査目的】林業振興対策

「CLT」を使用し脱炭素・サステナブルの象徴となっている当建築物について調査を行いました。



グリーンブルヒルゼンにて

③銘建工業株式会社（岡山県真庭市）

【調査目的】林業振興対策

日本でいち早く「CLT」への取組をスタートした企業について先進事例として調査を行いました。

④美作市獣肉処理施設「地美恵の郷みまさか」(岡山県美作市)

【調査目的】食料・農業・農村振興対策

食肉(ジビエ)の安全・安心を確保するための基準やガイドラインに基づいた徹底した衛生管理を行う当該施設の取組について調査を行いました。

⑤岡山県農林水産部（岡山県岡山市）

【調査目的】食料・農業・農村振興対策

同県の好調な新規就農の状況やその取組等について調査を行いました。

産経土木常任委員会

委員長：泉沢信哉、副委員長：斉藤優

委員：中沢丈一、星野寛、金子渡、伊藤清、矢野英司、秋山健太郎、鈴木敦子

★令和4年7月12日(火)～14日(木)

①鳥取県庁（鳥取県鳥取市）

【調査目的】観光物産の振興

同県の観光誘客の取組及びサウナツーリズムの取組について調査を行いました。

②鳥取県企業局（鳥取県鳥取市）

【調査目的】公営企業の推進

同県の県営水力発電所の運営に関する新たな経営手法や管理運営等の取組状況について調査を行いました。

③神戸フィルムオフィス（兵庫県神戸市）

【調査目的】観光物産の振興

関係企業や地方公共団体と連携したロケ誘致の取組について調査を行いました。

④兵庫県庁（兵庫県神戸市）

【調査目的】道路・橋梁の整備促進

地域高規格道路である山陰近畿自動車道の全面開通に向けた取組について調査を行いました。



兵庫県庁で調査する様子

文教警察常任委員会

委員長：今泉健司、副委員長：大林裕子

委員：橋爪洋介、後藤克己、井下泰伸、薬丸潔、大和勲、本郷高明、金沢充隆、牛木義

★令和4年7月20日(水)～22日(金)

①北海道大野農業高等学校（北海道北斗市）

【調査目的】教育体制の確立

全国から生徒を受け入れている同学校の取組や教育内容について調査を行いました。

②函館市教育委員会（北海道函館市）

【調査目的】教育体制の確立

学校・保護者・地域住民等が連携したコミュニティスクールの取組について調査を行いました。

③青森県教育委員会（青森県青森市）

【調査目的】学校体育・保健

学校現場における性教育の取組及び家庭教育支援の取組について調査を行いました。

④青森県警察本部（青森県青森市）

【調査目的】警察体制の確立

新たな通信指令システムの活用状況及び特殊詐欺対策の取組について調査を行いました。



青森県警察本部で説明を受ける様子

そのほか、常任委員会における県内調査や特別委員会での調査の状況は、県議会ホームページに掲載されています。ぜひご覧ください。

委員会の活動状況はこちら



質疑及び一般質問

令和4年9月26日、28日、29日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。

質疑及び一般質問の映像はこちら



○質疑及び一般質問の中から一部を掲載します。

9月26日(月)

◎本県の治安情勢と組織運営について



自由民主党 伊藤 清 (安中市)

Q 県警察本部長就任に当たり、群馬県の治安情勢をどのように捉えているか。また、県民の期待に応えるため、どのような組織運営を行う考えか伺います。

A 特殊詐欺事件や児童虐待事案、サイバー空間における犯罪の被害等が後を絶たず、また、高齢者が関わる交通事故の比率も年々増加傾向にあるなど、予断を許さない状況であると認識しています。来年には本県でもG7デジタル・技術大臣会合の開催が予定されており、平素から、テロに対する備えが重要です。数々の諸問題に対し、県警察一丸となって取り組み、「安心安全を誇れる群馬県の実現」へ向け、警察活動を推進してまいります。

◎県内企業の再生可能エネルギー導入支援について



リベラル群馬 後藤 克己 (高崎市)

Q 県内企業の再生可能エネルギー導入に向け、どのような支援を行うのか、特に自家消費型の設備導入など、企業の取組をどのように支援していくのか伺います。

A 自家消費型を含めた再生可能エネルギー設備導入のための県内企業向け支援制度として、長期・低利の制度融資や初期費用0円事業、太陽光発電設備等の共同購入事業を順次開始しております。今後も、国や他県の制度を参考にしながら、更なる取組を検討し、県内企業の脱炭素化の取組を後押ししていきたいと考えています。

◎今後の若者の政治参加の取組について



自由民主党 大和 勲 (伊勢崎市)

Q 今後どのようにして、更なる若者の政治参加を図るのか知事の思いを伺います。

A 今年度は、(株)笑下村塾と連携した親しみやすい選挙授業の実施など、新たな取組を行っています。今年7月に行われた参議院選挙では、本県の10代の投票率は前回から大きく上昇し、全国平均と比べても4.44ポイント上回る良好な結果となり、これらの新しい取組が大きく貢献したと実感しています。今後も、県議会での取組、選挙管理委員会での取組により相乗効果が上がるよう、県を挙げて若者の政治参加を推進してまいります。



県内高校での「笑える！政治教育ショー」の様子

◎県立赤城公園の活性化に向けた基本構想について



令明 井田 泰彦 (桐生市)

Q パブリックコメントを受けて、基本構想案の調整作業を行っていますが、進捗状況と、覚満淵と小沼の施設整備の方向性について伺います。

A 県立赤城公園活性化基本構想案については、自然環境の保全を求める意見など、多くの意見をいただき、現在、見直しの作業を行っています。覚満淵と小沼については、自然環境の保全・保護を図るエリアに位置づける方向で検討しています。手つかずの自然を守りながら赤城山頂エリア全体の活性化を実現していきたいと考えています。

9月28日(水)

◎馬事公苑について



自由民主党 安孫子 哲 (前橋市)

Q 馬事公苑(前橋市)の利用拡大のため、畜産試験場の飼料畑を有効活用し、乗馬等に活用できるように一体的に整備すべきと考えますが、いかがでしょうか。

A 現在、飼料畑は、飼料作物の試験研究と、畜産試験場の牛のエサを生産することに活用され、家畜防疫等の観点から立ち入りを禁止しています。飼料作物の確保や防疫等の課題解決が前提ですが、畜産試験場を含めた、馬事公苑の魅力向上と、より有効的な活用方法について、地元関係者の意見を踏まえ、サービス向上に努めていきたいと考えています。



馬事公苑

◎リトルベビーハンドブックについて



公明党 薬丸 潔 (太田市)

Q 本定例会に上程された補正予算案において、リトルベビーハンドブック作成の予算を計上した知事の思いを伺います。

A これまでの議会で何度も提起され、課題として捉えていました。先日、小さく産まれた子どものお母さん方とお会いし、切実な思いを伺いました。ハンドブックを手にすることで、救われる御家族がいるのであれば、その力になりたいと願い、本定例会に上程しました。子どもの生命を守り、誰一人取り残すことなくすべての子どもやその家族を支援することが、県の使命であると考えています。

◎産後ケア事業における県の取組について



自由民主党 大林 裕子 (北群馬郡)

Q 産後ケア事業を必要とする方が、よりケアを受けやすくなるよう、県として支援が必要と考えますがいかがでしょうか。

A 産後ケア事業は、市町村において、乳房のケアや個別の状況に応じた育児指導、傾聴等の心理的支援を行うものです。地域社会の子育て機能を補う上で重要な取組であることから、県としては、産後間もない御家庭に広く利用していただけるように、産後ケア事業の重要性の認識を促すとともに、周知方法を提案するなどして、市町村の取組を支援します。

◎豚熱に係る野生イノシシ対策について



自由民主党 相沢 崇文 (桐生市)

Q 豚熱の発生要因の一つである野生イノシシへの対策について、現在の取組と今後の対策について伺います。

A 出没データの提供や捕獲奨励金の交付により、市町村における捕獲を支援しています。また、イノシシの経口ワクチン散布エリアの拡大、移動を抑制するための河川内の緩衝帯整備等に取り組んでいます。新たな対策として、夜間撮影が可能なドローン、イノシシを群れで捕獲できる「ネット式囲い罠」の導入を計画しています。養豚業を豚熱から守るため、全力で取り組んでまいります。

9月29日(木)

◎知事の考える工業都市太田の未来について



自由民主党 秋山 健太郎 (太田市)

Q 群馬県が発展する中で、工業都市太田の位置付けについて、知事がどのように考えているか伺います。

A 太田市には、全国屈指の工業都市として、本県産業を牽引していただいています。今後、ものづくり産業を中心とした産業構造から、高付加価値な産業に発展させていくため、有識者からなる「ぐんま未来産業アドバイザーボード」を設置し、本県産業の未来を検討します。新たな時代に向けて継続発展していくための道筋を示し、本県の将来を見据えた産業構造転換を実現してまいります。

◎今後の子どもアドボカシー(※)制度の導入について



リベラル群馬 鈴木 敦子 (高崎市)

Q 子どもアドボカシー制度の導入について、県はどのような認識であるのか伺います。

A 子どもの意見を聴く機会や子どもが自ら意見を述べる機会の確保、その他子どもの権利を尊重するための取組を推進することは、県の責務です。今後、人材の養成や確保の方策を含む「意見表明等支援事業」の詳細等が、国から示される予定となっており、県としては、国の動向や先進事例を注視しつつ、まずは、一時保護所に入所している子どもが意見表明しやすい環境整備やその権利を守るための新たな仕組みづくりを検討してまいります。

(※)子どもアドボカシー…子どもの声を聴き、子どもが意見を表明する支援を行う活動

◎眼の紫外線対策について



自由民主党 牛木 義 (甘楽郡)

Q 屋外スポーツを行っている県民に対して、眼の紫外線対策の理解促進を図ることは重要なことと考えますが、いかがでしょうか。

A 紫外線の浴び過ぎは、日焼けなどの原因になるほか、皮膚がんや白内障などを引き起こす恐れが指摘されています。プレー時に激しい接触を伴うサッカー等の競技や、個人のスタイルにも配慮しつつ、サングラスの着用など適切な対策がとられることが必要であるため、スポーツ関係者に対し、紫外線の性質や対策などについて理解が進むよう、会議や研修会などの場を通じ周知に努めてまいります。

◎技術情報の流出防止に向けた取組について



自由民主党 久保田 順一郎 (邑楽郡)

Q 本年5月に国の経済安全保障推進法が成立しましたが、ものづくりが盛んな本県において特に重要となる県内企業が有する技術情報の流出防止に向けた県の取組について伺います。

A デジタル化により、企業の技術等が、インターネットを通じて世界とつながる機会が確実に増加しています。本県では、群馬県警察の協力も得て、県内ものづくり企業を対象に、サイバー攻撃の現状やリスク、技術流出防止の重要性や対策のポイントを紹介するセミナーを開催しました。引き続き、優れた技術の流出防止にしっかりと取り組んでまいります。

若者の政治への関心を高める取組

大学生と県議会議員が意見交換

「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」を開催



意見交換の様子

若者の政治への関心を高めるため、第3回前期定例会中の9月26日（月）に、「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」を開催し、県内の3大学から計20名が参加しました。

大学生の皆さんは、本会議を傍聴した後に県議会議員と積極的に意見交換を行い、政治や議会への関心を深めました。

【参加大学】県立女子大学、県民健康科学大学、関東学園大学



議場内で一般質問のやりとりを傍聴

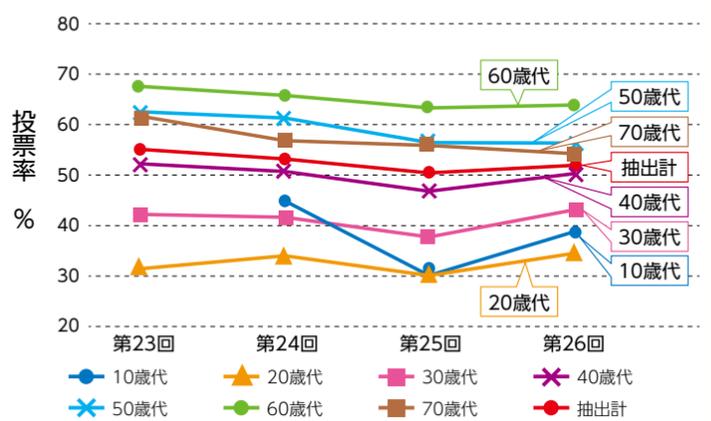
ポイント!

投票率の現状

今年7月に行われた第26回参院選における群馬県全体の投票率は48.49%で、前回より0.31ポイント上がりました。また、県内の10代の投票率は、前回の参院選と比べて8.79ポイント上昇しましたが(38.93%)、20代(34.64%)とともに40%にも届いていません。

群馬県議会では、本事業のほかにも議員が高校を訪問して生徒と意見交換をする取組を行うなど、主権者教育に力を入れています。

参議院議員選挙における群馬県内年代別投票率の推移



参加学生の感想

●関東学園大学 阿部 大翔さん

もともと関心があったSDGsについての議員の考えを聞くことができ、様々な活動があることを教えていただきました。また、自分の意見を伝えることができ有意義な時間となりました。選挙では投票して自分の意見を示したいと思います。



●関東学園大学 山本 彩水さん

議員との意見交換の場は、親しみやすい雰囲気でした。自分一人の意見は伝わらないと思っていましたが、参加してみて、声を上げれば変わるかもしれないと思いました。今後も今回のように意見を言える場があれば積極的に参加したいです。



参加議員の感想

●議会基本条例推進委員会 岸 善一郎 委員長

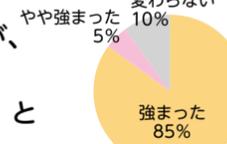
若者に政治に興味を持ってもらうために、学生と交流する場は、必要と感じています。それぞれが課題に感じていることへの意見交換を通じて、政治を身近に感じてもらい、自分たちが政治を動かすという気持ちで、新しい時代を作っていくほしいです。



参加者アンケート

Q 「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」への参加を契機に、選挙に行くべきとの気持ちが強まりましたか。

A 参加者の90%が、「強まった」「やや強まった」と回答しました。



トピックス Topics

◎県議会メッセージ動画の作成・公開

若者に向けた動画『県議会メッセージ「若者の投票率が低いとどうなる!?」』を作成しました。

若者の投票率について2人の若手議員からのメッセージを収録しています。ぜひご覧ください。



動画は、県の公式YouTubeチャンネル「tsulunos」からご覧ください



議会図書室について

一般の方も御利用いただけます。利用案内は右QRコードからご覧ください。



◎県議会だより電子書籍版はスマートフォン等でご覧になれます。音声読み上げ機能(10言語)にも対応しています。



◎過去の県議会だよりは こちらからご覧ください。



県議会ホームページ

群馬県議会 検索

県議会の最新情報は公式SNSでも発信しています。

Twitter



Facebook



令和4年第3回後期定例会のご案内

日程は11月24日から12月14日までの予定です

テレビやインターネットによる中継をしています。ぜひご覧ください。



◎本会議・委員会開催日程

©群馬県 ぐんまちゃん

月日	曜日	議事予定	月日	曜日	議事予定
11月24日	木	本会議 (後期開会・提案説明)	12月 6日	火	常任委員会
29日	火	本会議 (質疑及び一般質問)	7日	水	特別委員会
30日	水		9日	金	
12月 2日	金		14日	水	本会議 (委員長報告・議決・閉会)

※会期は予定ですので、変更される場合もあります。(開会はおおむね午前10時からです)

◎県議会中継

テレビ

★群馬テレビ 午前10時～〈生中継〉
◆本会議(質疑及び一般質問)をご覧ください。

スマートフォンやタブレットは
こちらからご覧いただけます

インターネット

★県議会ホームページ「議会中継」
〈生中継〉〈録画〉

◆本会議の全日程をご覧ください。



県議会では、弔電を自粛する申し合わせを行っています。

◎「県議会だより」は年4回発行しています。次号は、令和5年1月1日(日)発行予定です。

◎「県議会だより」についてのご意見を政策広報課までお寄せください。

☎ 027-897-2891 FAX 027-221-8201

✉ giseisaku@pref.gunma.lg.jp